

ワークスユニオン

2025年7月15日発行

2025年夏号

<第66号>

編集・発行／社会福祉法人ワークスユニオン 代表／池田直樹 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881

ワークス集

ワークス翔

就労継続支援（B型）事業所

ワークス歩

旅行に行きたい

一泊二日の旅行に行きました

事業所旅行でも行つたこ
とがあるけれど、淡路島や

京都嵐山、神戸や東京、長崎
や静岡、岡山、香川に行きた
いです。旅行しておいしい
ものをたくさん食べたいで
す。香川に行つたら「さぬき
うどん」を食べたいです。

バス旅行も楽しいけれど、
東海道新幹線「のぞみ」に乗
つて景色を見たいです。

事業所旅行で思い出に残
っているのは、静岡県の「三
島スカイパーク」で長いつ
り橋を渡つたことです。と
ても楽しかったので、もう
一度行つてみたいです。

これからも、おいしいも
のを食べて、楽しいことを
たくさんしたいです。

日下
亮介

はたらく」とについて

就労継続支援(B型)事業所より

ワークスユニオンの支援者として働き始め、13年を迎え、法人の中では若手から中堅?の位置にいる私ですが、日中支援事業所で働いたのは8年と、ほとんど年の数を日中の事業所で過ごしてきました。その中で、就労継続支援B型事業所(以下、B型事業所)で私が体験した「はたらく」ことにソードを皆様に紹介したいと思います。

●しんどくても働きたい

Aさんは話すことが好きで、事業所で困っている人を見つけては「大丈夫だよ。心配しないでいいよ」などお世話係のような方です。そんなAさんは過去に一般就労をして働いていましたが、気持ちがしんどくなり辞めた過去が多くあります。それでもAさんは「就職したい。働きたい。」とい

くつかの企業に就職しましたが、なかなか続きませんでした。

企業の中で支援者と働く施設外就労の制度により、一般就労に近い仕事場を提供できることは、Aさんの想いを体現出来たのではないかと思います。それでも仕事場への不満やしんどさは残り、仕事に足が向かない事もありました。人間関係に悩み、不満を吐いたり、眉間にしわを寄せて作業をしたりと、働くしんどさはなかなか改善されませんでした。

明るく人の世話が好きな一方、人の事がどうしても気になってしまいAさんの葛藤と苦労が身に沁み、それらを軽減できるよう努めたいと思いました。

そんな中、車の送迎サービスがある事業所を提案したことがありましたが、Bさんの保護者さんから「今この事業所に通いたいと本人が言っていますので、通える限り通わせて欲しい」とお願いされました。私は支援者として、本人の好きな歌や身体を動かす事が出来る、送迎なので通勤の心配も無くなると考えて提案させてもらつたのですが、Bさんが今の事業所に通い続けたいと強く思つていて知りました。

「はたらく」ということは生活の為の手段であつたり、社会とのつながりであつたり、自己実現をするためであつたり、周りの人たちの役に立ち、助け合うことがあります。Aさん、Bさんにとって、今の事業所は「はたらく」場所になつてゐるのだと思います。

「はたらく」ということのあり方について、Aさん、Bさんにとって、今の事業所は「はたらく」場所になつてゐるのだと思います。Bさんは明るく、食べる事や身体を動かす、歌を唄う事が好きな方です。長年通っていた事業所の仲間たちと日々作業をしていましたが、高齢になるにつれ

す。事業所の仲間たちと冗談を言うなどして好きな会話を楽しみ、しんどさはあるものの笑顔が多く見られます。

そんなある日、精神的な不調で、事業所に単独で通えなくなりました。医師にもかかりましたが不調は回復せず、通勤も心配な状態が続きました。

不調の中でも『通いたい』と思つてもらえることはとても嬉しく思います。このような事業所体制を継続して、より通りやすいと思つて頂ける事業所を目指したいと思いました。

●事業所に行きたい

Bさんは明るく、食べる事や身体を動かす、歌を唄う事が好きな方です。長年落ち着いてこられ、少しの心配は残りますが、今でも同じ事業所に通い続けてい

ます。ラジオから流れる歌を口ずさみ、仲間と一緒に笑顔で作業をしています。

不調の中でも『通いたい』と思つてもらえることはとても嬉しく思います。この事業所体制を継続して、より通りやすいと思つて頂ける事業所を目指したいと思いました。

これからについて、よく利用者さん一人一人の環境にあつた「居心地のよい場所」を、私自身も法人で働くものとして、「はたらく」ことの楽しさを感じながら、考えていきたいと思います。

カーフェス



令和7年2月28日に生活介護事業所「匠」(以後「匠」)でカレーフエスを開催しました。

メインにその他の食べ物や音楽を提供してみんなで楽しんでみようということです。フェスを行うことにしまし

準備に携わった職員も室

色んな意見や発想が浮かびました。当日は利用者さんが到着すると玄関に用意をしていた自作のターバンをかぶつてもらいスタートし

ています。

日常「匠」で食べている昼食の弁当には、業者の都合

でみんなの大好きなカレーライスが出ることがあります。その為「カレー ライスを食べたい！」との声が度々ありました。また、昨年度は夏に行事が重なった為夏祭りイベントが開催できなかつたのでその代用も兼ねました。カレーライスを

フレンチトースト、しまちゃんのコーヒーなどという名前で提供しました。今回は、カレーライス作り体験、コーヒーを生豆から焼いて飲む体験・色々な楽器を実際に触れる体験コーナーを設けました。「和」利用者さんや家主さん、職員にも参加してもらいとても盛り上がりました。

午後よりは、送迎車運転を担当していた泉さんの「アゲインバンド」に来てもらい懐かしの音楽を聴き音楽に合わせて踊りだす利用者さんがたくさんいました。利用者さんからは「人参とかジャガイモも美味しかった」「餃子!! フレンチトースト!!」「カレー食べたいからまたやつてほしい」「おなかいっぱいになつた」「カレーハンが美味しかつた」「楽しかつたです 来年もやつてほしいです」このようない感想が多くありました。

また、利用者さんが樂しいと思える活動を提供していきたいと思います。

6月6日(金)は生活介護事業所「和」の野外活動でした。今年は、平野の町ぐるみ博物館を巡りました。

かつたり、入つても、突然鳴り響くドラの音にびっくりして出てきたりと、結局、最後まで話を聞けた人は誰もいませんでした。

他には小さな駄菓子博物館や、刀博物館を巡りました。途中、創業300年の老舗の和菓子店で、おやつを買つたりお土産を買つたりしながら、最終目的地の大念佛寺というお寺まで歩きました。

島村

平野の町めぐり

まず、私たちが行つたのは、和菓子の梅月堂です。ここでは古い木型など和菓子を作るための道具類が展示されていました。その次にたずねたのは、全興寺です。寺内にある地獄堂は地獄を体感できるお堂で、みんな少しだけ怖かったようです。お堂の中に怖がつて入れな

平野は、中世の時代、自治都市として堺に匹敵するぐらいに栄えていたそうです。古い建物が多く残っている平野では、町ぐるみ博物館といつて、小さな博物館が点在しています。

皆さんにとつて、平野の町巡りをしたことは初体験だつたので新鮮だつたようです。暑い中、よく歩いて疲れていたにも関わらず、最後はみなさん、良い表情をされていました。（中濱）

グループホームの休日☆

休日の過ごし方として、グループホーム(以下GH)を利用されている方向けにGHレクを月に一回行つてあります。内容は近隣の施設を見学したり、バーベキューやボウリングをしたり、といったものです。

先日、お花見に行ってきました。桜が綺麗に咲いていて春のおだやかな気候の中、公園を歩きながら、「あの花は何?」と桜以外の花に目を向けると、「あれはパンジー」「パンジーに似ているけど違う花なんや」と会話しながらのんびりとした時間を過ごしました。

平日は作業所や就労先で仕事を頑張っています。休

日にどこかに外出をしてリフレッシュする。それはとても意義があることだと思います。

GHレクでは外出をメインにしていますが、過去には、夏祭りと称して即席の屋台を出して楽しんだことがあります。最近は、そのような普段と違った遊びも

始まりは休みの日にどこかに行きたいけれど、ひとりでは行けず、グループホームで時間を持て余して過ごしている利用者さんに、職員が案を出して外出する機会を増やそうとしたことからです。すでに何年か経ついて、最近は同じよう

な場所に行くことが多いですが、職員との外出を皆さん楽しみにしています。

職員紹介

少しずつ理解出来ればと思います。

趣味は「御朱印集め」です。一番遠い所は、千葉の成田山新勝寺。お気に入りは「選べない!」と教えてくれました。

中道 省太(なかみち せいた)

(左一列)

転職を考えた時、二十数年前に福祉専門学校に通っていたので、その経験を活かしたいと考えました。とは言え、今と昔では福祉の考え方は変化していると思います。再度学校に通い、その学校からの実習先がワーカスユニオンでした。とても働きやすい職場だと思ったので応募しました。

池田 恵司(いけだ けいじ)

(右一列)

福祉の仕事に興味はあるものの、自分に向いていても意義があることだと思います。GHレクでは入職して三か月程経ちます

が、想像以上に難しく、奥の深い仕事だと感じています。利用者さん一人一人の個性が、想像以上に難しく、奥の深い仕事だと感じています。利用者さん一人一人の個性があります。最近は、その理解しつつ、対応をしたくなるのかどうかもわからないまま、飛び込んでみました。

支援をする上でわからぬ事も多いですが、利用者さんと一緒に「今日も一日よかつた」と思って貰える事を目標に頑張っています。

休日や帰宅後は、映画やドラマを観て過ごす事が多く、特に深夜枠のアニメが好きで、分野問わずいろいろ見ていて、最近は同じよう

な利用者さんと一緒に「今日も一日よかつた」と思って貰える事を目標に頑張っています。

理由を教えて貰いながら、

(野崎)

(助野)

編集後記

▼ワークスユニオンのダン

スチーム「UNION★S TAR's」は、9月14日に大阪・関西万博でダンス発表をすることになった。▼

出演予定の利用者さんは万博で踊ることを喜んで、いつも以上に練習を頑張っている。▼「UNION TAR's」は、講師の瀬

口先生がワークスユニオンの利用者さんと出会い、「障害がある人も可能性を秘めているはず。最初からできないと諦めずにどこまで踊れるか一緒にチャレンジしたい」という考えから始めたので、結成から12年が経つた。

▼瀬口先生と利用者さんとの利用者さんと出会い、「障害がある人も可能性を秘めているはず。最初からできないと諦めずにどこまで踊れるか一緒にチャレンジしたい」という考えから始めたので、結成から12年が経つた。

▼ワークスユニオンのダンスチーム「UNION★STAR's」は、9月14日に大阪・関西万博でダンス発表をすることになった。▼

出演予定の利用者さんは万博で踊ることを喜んで、いつも以上に練習を頑張っている。▼「UNION TAR's」は、講師の瀬口先生がワークスユニオンの利用者さんと出会い、「障害がある人も可能性を秘めているはず。最初からできないと諦めずにどこまで踊れるか一緒にチャレンジしたい」という考えから始めたので、結成から12年が経つた。

▼瀬口先生と利用者さんとの利用者さんと出会い、「障害がある人も可能性を秘めているはず。最初からできないと諦めずにどこまで踊れるか一緒にチャレンジしたい」という考えから始めたので、結成から12年が経つた。

日々、メンバー全員で楽しんで踊れるよう頑張つて練習をしていますので、皆さん応援よろしくお願ひいたします。

(Y)